令　和　８　年　度

教 育 委 員 会 定 例 会 （8月） 議 事 録

四　條　畷　市　教　育　委　員　会

１　開催日時・場所

令和８年８月２６日（水）１０時００分から１０時４０分まで

四條畷市役所　東別館２階　２０１会議室

２　出席委員

教育長	木村　実
教育長職務代理者	山本　博資
委員	佃　千春
委員	佐々木　弥生

３　事務局出席者

教育次長 兼学校教育部長	開　康成
学校教育部次長 兼青少年育成課長	神本　かおり
学校教育部副参事 兼教育総務課長	浅倉　裕次
教育総務課長代理	荒堀　涼
学校教育課長	胡　健太
青少年育成課長代理 兼主任	安田　直由
学校給食センター所長	谷口　直人
教育支援センター長兼 学校教育課指導担当課長	金子　摂

４　議事録作成者　　教育総務課　最上　秀樹

５　付議案件

議案　第２２号　令和８年度一般会計補正予算（第３号）に対する意見の申し出について

議案　第２３号　教育委員会事務局職員人事について

その他　　学校再編後の一定年数経過における検証について

その他　　部活動の地域展開の状況について

その他　　なわて教育フェスティバル２０２６実施報告について

その他　　四條畷市子どもの習い事応援事業の進捗状況について

木村教育長	只今から８月の教育委員会定例会を開催します。会議の成立状況について、事務局から説明をお願いします。
浅倉学校教育部副参事兼教育総務課長	本日の教育委員会定例会は、尾﨑委員は所用のため欠席でございますが、教育長並びに教育委員の過半数のご出席をいただいています。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１４条第３項の規定に基づき、本日の会議が成立していることを報告いたします。
木村教育長	それでは、四條畷市教育委員会会議規則第５条第２号の規定に基づき議事録署名者の指名をおこないます。本日の議事録署名者は、佐々木委員にお願いいたします。 議題に入る前に、議案第２３号　教育委員会事務局職員人事については人事案件でございますので、四條畷市教育委員会会議規則第９条第１項の規定に基づき、秘密会にしたいと思います。また、審議につきましては、議事進行の都合上、その他案件の後にしたいと考えておりますが、委員の皆さまこれに異議はございますか。 （「異議なし」の声）
木村教育長	それでは議事に入ります。 議案第２２号　令和８年度一般会計補正予算（第３号）に対する意見の申し出についてを議題といたします。事務局から本件の内容説明をお願いします。
浅倉学校教育部副参事兼教育総務課長	議案第２２号　令和８年度一般会計補正予算（第３号）に対する意見の申し出についてご説明申し上げます。 令和８年度一般会計補正予算（第３号）を市議会９月定例議会へ提出するにつき、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２９条の規定により教育委員会の意見を申し出ることについて、ご審議、ご議決いただきたく、本案を提案いたしました。 それでは、補正予算の内容についてご説明いたします。別紙、補正予算要求内容の１ページをご覧ください。また、２ページめに対象となる学校及び遊具を記載しておりますので、適宜ご覧いただければと存じます。 今回の補正予算は、市内小学校６校を対象に実施した遊具点検の結果に基づくものでございます。 先日、点検事業者から点検結果の速報があり、児童の安全確保および教育活動の円滑な実施を図るため、速やかに修繕等の対応が必要であると判明した箇所について、今回の補正予算により必要な修繕等を実施するものでございます。

（浅倉学校教育部副参事兼教育総務課長）	歳出といたしましては、款「教育費」、項「小学校費」、目「学校管理費」の工事請負費として、学校遊具整備工事費 ５，８００，０００円を計上しております。具体的には、各校において点検事業者から指摘のあった遊具について、部品の交換や補修等を行い、児童が安全に使用できる状態に復旧するものでございます。 なお、修繕工事を実施するまでの間の安全確保対策といたしましては、該当する遊具について、使用禁止を明示するテープ等を設置するとともに、ブランコのチェーンなど、部分的に取り外すことが可能なものについては、安全対策として撤去するなど、必要な対応を進めているところでございます。
木村教育長	本件について、質疑等ございましたらどうぞ。
山本教育長職務代理者	点検をしていただいた結果、危険な学校遊具は整備しなければならないということで、補正予算を出していただいたと思いますが、業者が点検をして、危険であるという判定には至らないまでも、何かしら補修したほうが良い箇所はありましたでしょうか。あるいはそれについてどのような対応をすることができるのか教えてください。
浅倉学校教育部副参事兼教育総務課長	先ほどの説明のなかでもお示しさしていただいたとおり、現在は速報ということでございまして、総合判定ＡＢＣＤの中で危険性が高く、使用禁止となるＤ判定の遊具について報告がありました。それ以外についは、今後点検事業者の報告を受けたのち、その状況を見たうえで対応してまいりたいと考えています。 これまでも使用禁止とまでは至らないものについても、営繕班による修繕対応など、一定遊具の保守に努めてきましたので、今後もそのように進めてまいりたいと考えております。
佐々木委員	岡部小学校は外側から、立入禁止があるなと見ていて、てっきり暑さのために入らないようにすることだと思っていました。夏祭りなどで学校の校庭を使うこともあると思います。詳しくその近くに行って見てはいませんが保護者への注意喚起等はされていましたか。
浅倉学校教育部副参事兼教育総務課長	この間、夏休みということもございまして、学校長や学校関係者の方には説明しており、子どもたちに対しても新学期に説明をしていただくようお願いしていましたが、保護者までは届いてないという現状でございます。
胡学校教育課長	まずは子どもたちにしっかり注意喚起をさせていただいたうえで、保護者に対しては、普段学校に来られることはないですが、例えば運動会、行事等で保護者が運動場に集まる機会等がありましたら、その案内等に一言加えよ

（胡学校教育課長）	うかと考えております。
佐々木委員	砂地区の夏祭りにかなりの人が集まっていました。私は、遊具側ではありませんでしたが、その状況をみると注意喚起があった方が、何かあったときのことを考えると、対応の薄さが気になりました。また、現状はわかりませんが、以前お迎え等で行ったときに、保護者がサッカーを見学していて、付いてきた子どもが遊ぶということも往々にしてあったので、そのあたり気にしていただけると２次被害的なものが起こらなくていいと感じましたので、よろしくお願いします。
木村教育長	他に質疑はございませんか。 （「なし」の声）
木村教育長	ここでお諮りいたします。 議案第２２号　令和８年度一般会計補正予算（第３号）に対する意見の申し出については、原案のとおり可決することに異議ございませんか。 （「異議なし」の声）
木村教育長	議案第２２号　令和８年度一般会計補正予算（第３号）に対する意見の申し出については、原案のとおり可決することに決しました。 それでは、その他に移ります。その他の案件ありますでしょうか。
浅倉学校教育部副参事兼教育総務課長	学校再編後の一定年数経過における検証の進捗状況についてご報告いたします。先月の定例会及び同日午後の総合教育会議で説明させていただきました、庁内検討会による検証結果のまとめについて、８月１８日に市議会議員の皆さまに庁内検討会からこれまでの検証内容を報告しました。 また、これまでの検証まとめと併行して、庁内検討会では、まちづくりや財政面など様々な観点から、小規模校が今後どのようなあり方が望ましいか、四條畷南小学校、田原小学校、田原中学校の３校に検討の範囲を絞ることとして議論を重ねてまいりました。 別添の資料をご覧ください。こちらは庁内検討会で、各委員が記入するための様式です。元々は庁内検討会で３案程度に絞る想定でしたが、議論の結果、様々な観点の意見があるなか細かく絞りきるのは困難であるため、存続２案、廃校２案の方向性を大きく４つに分けて、８つの観点から委員に評価いただく内容になっています。 昨日、第５回の庁内検討会が開催され、各部署からの提出はありましたが、現在取りまとめの最中にありますので、次回ご報告させていただきます。

木村教育長	本件について、質疑等ございましたらどうぞ。 （「なし」の声）
木村教育長	事務局から他にございますか。
胡学校教育課長	令和８年度より実施しております部活動の地域展開の進捗状況についてご報告申し上げます。今年度はサッカー、バスケットボール、バドミントン、ソフトテニス、剣道の５種目で地域展開を行っており、参加者については、４月当初は約４０人でしたが、８月現在では約１００人に達しております。 参加している生徒からは「楽しい」、「専門的に教えてもらえる」、「うまくなった気がする」、「学校になかった部活動ができてうれしい」、団体からは「子どもが主体的に取り組んでいるからやりがいがある」といった声が聞かれました。一方で団体からは「事業としては成り立たない」といった声も聞かれました。 来年度に向けて、現在、２学期に実施する生徒アンケートの作成と新しい種目の実施に向けていくつかの団体と話し合いを行っています。
木村教育長	本件について、質疑等ございましたらどうぞ。
佃委員	４月から始めていただいて、現在１０１人ということで、徐々に活動人数も増えているということは大変喜ばしいことだと思っていますが、これに関してはやはり、受入れ側の事業者のご理解も必要ですし、それにおいて５団体で委託料が３５０万円ということについて、事業者側のご意見はいかがでしょうか。
胡学校教育課長	事業者側としては、団体によっては自前の備品や消耗品等で対応している団体もありまして、この予算では継続していくのが少し難しいかもしれないという話は聞いております。
佃委員	今後、この方向性を進めていくとするならば、やはりこの活動種目も増やしていくべきだと思いますし、それにおいて事業者のご協力も必要ということでしたら、委託料についても今後少しずつ増やしていただく方向でお考えいただきたいですし、さらに、保護者の負担を強いるのは酷ではありますが、受益者負担の原則から申しますと、他市でも幾ばくかの受講料を徴収しているようですので、そういったものも参考にしていただきながら、四條畷市としてより良い部活動の地域展開の発展をお考えいただけたらと思っております。

山本教育長職務代理者	私も同意見で、部活動の地域展開を活性化するためにはある程度の自己負担も必要かと思います。そのうえで、参加生徒数についてですが、４月が４２人で７月は１０１人に増えていますが、実際もっと活性化するためには人数を増やしていく必要もあると考えます。この募集はどのようにされているのでしょうか。４月から増えているのは４０人の生徒が友達を誘って増えているということなのか、それとも新たに募集活動をされて増えているのか教えてください。
胡学校教育課長	学校や生徒に対してのお知らせは４月当初にしているのみで、生徒間で誘い合いや、年間を通じて申込みができるように募集していることも増加の理由であると考えます。
山本教育長職務代理者	年間を通して募集しているということですので、例えば学期が変わる機会に生徒たちに紹介していく必要もあるのではないかと思います。
佐々木委員	部活動の地域展開について、趣旨としては先生方の働き方改革での負担軽減の部分が大きいと理解しているのですが、部活動の良さを感じている保護者としては、逆に先生方の地域展開についての感想としてどのような声があるのでしょうか。
胡学校教育課長	２学期に生徒たちに向けてだけではなく、先生方にも地域展開についてアンケートで聞いていきたいと考えておりますので、それも含めて来年度どのように先生方が関わっていくかも考えていきたいと考えています。
木村教育長	先生方からどのような意見があったのかをまた報告していただければと思いますのでよろしくお願いします。 この１０１人の競技の内訳と活動場所、学校別の参加人数を教えてください。
胡学校教育課長	まず種目ごとの参加人数ですが、サッカーが１６人、ソフトテニスが２６人、バスケットボールが３４人、バドミントンが２２人、剣道が３人となっております。活動場所についてですが、四條畷中学校でバドミントン、四條畷西中学校でサッカー、ソフトテニス、バスケットボール、剣道においては様々な学校で行っております。学校ごとの参加人数ですが、四條畷中学校が２９人、四條畷西中学校が６７人、田原中学校が５人となっております。
木村教育長	どうしても田原中学校の人数が少ないところについては工夫が必要になりますので、また考えていけたらと思います。 事務局から他にございますか。

安田青少年育成課長代理兼主任	なわて教育フェスティバル２０２６実施報告について説明いたします。配布資料のなわて教育フェスティバル２０２６の実施報告についてをご覧ください。８月８日土曜日午前１１時から午後3時３０分まで、なわて教育フェスティバル２０２６を四條畷西中学校の体育館で開催いたしました。参加人数は１１１人でした。 前半はライフイズテック株式会社、ＢＲＪ株式会社、株式会社官民連携事業研究所のご協力のもと、最新の技術、ミライの世界に触れようをテーマに生成ＡＩを活用した画像の生成体験や、電動キックボード体験、公民連携による教育、地域づくりの取組の紹介など様々なプログラムを実施し、参加者に大いに楽しんでいただきました。また、学校給食で人気のカレーライスをナフス南株式会社様にご協力をいただき、午前１１時から午後１時まで販売しました。 後半は、大阪夕陽丘学園理事長兼校長の日野田直彦氏による、２０５０年を生き抜くためのミライの授業と題して基調講演会を行いました。日野田氏からは、失敗を恐れずチャレンジする人が一番偉く、成功するまであきらめなければ失敗ではないことや、異なる価値観や考えに触れることで自らの幅を広げることができ、人生をより広く、深く、豊かなものにしてくれることなどをお話しいただき、参加者の皆さんは真剣な眼差しで講演を聞いていました。 その後、銭谷市長、Ｐｅｂｂｌｅ株式会社を創業し、アメリカのブランダイス大学へ進学されている濱田茂音氏、青山学院大学の学生でタイのチュラロンコン大学に留学経験がある小田切心和氏も登壇して、パネルディスカッションを行い、子どもがやりたいことに挑戦し、大人が子どものやってみたいを応援することの大切さについて、たくさんのヒントをいただきました。 当日、参加者に記載いただきましたアンケートの一部についても、資料に掲載しております。ご参加いただいた皆さまからはご満足をいただいたコメントを頂戴することができました。 その他、当日の様子など、写真付きで市ホームページに掲載しております。また、当日はジェイコム北河内様に取材収録をいただきまして、８月２２日土曜日から８月２８日金曜日まで午前１１時と午後８時半に放送されます。また、インターネットでは地域情報アプリ「ど・ろーかる」の地元トピックスでもご覧いただくことができます。
木村教育長	本件について、質疑等ございましたらどうぞ。 （「なし」の声）
木村教育長	事務局から他にございますか。

安田青少年育成課長代理兼主任	令和８年度四條畷市子どもの習い事応援事業の進捗状況について報告いたします。習い事応援事業につきましては実施要領に基づき、７月から実施しております。 １点め、就学援助認定の中学生について、現在１６７人の方が対象となっており、当課から対象世帯に個別で習い事応援事業の申請をいただけるように、ご案内をしております。このうち、８月２１日時点で５４人の方が交付決定となっておりますので、３２．３％の方にクーポンをお届けできている状況です。なお、５４人の方以外にも、現在９人の申請をいただいており、就学援助制度の対象者確認を行っているところです。また、５４人のうち、満額となる４５,０００円の交付決定者は４７人であり、４０，０００円の交付決定者は、７人となっております。 ２点め、登録教室につきましては、現在２７教室となっております。内訳として、文化芸術教室が３件、スポーツ教室が８件、学習教室が１６件となっております。保護者から登録教室へ参画依頼をしていただきたいとリクエストをいただき、当課からご案内を行っておりますが、現時点でまだ登録教室になっていただけていない事業者もおられますので、引き続き、登録教室として参画いただけるようにご案内を続けていきます。なお、本年度は３０の登録教室を目標としていたため、目標数値は達成見込みです。引き続き、多くの登録教室をご用意できるように努めていく所存です。 ３点め、利用実績についてですが、７月の利用実績は２件であり、５５,０００円でした。８月は、現在進行中ですが、８月２５日時点で５件、１１４，８６０円の利用が確認できております。
木村教育長	本件について、質疑等ございましたらどうぞ。 （「なし」の声）
木村教育長	それでは、会議冒頭に秘密会としておりました議案第２３号　教育委員会事務局職員人事についてを議題としたく、これより秘密会といたします。 （秘密会）
木村教育長	ただいまから、会議を公開します。 議案第２３号　教育委員会事務局職員人事については、可決しました。 他にございますか。 （「なし」の声）
木村教育長	それでは、本日予定の案件の審議は、すべて終了しました。

	これをもちまして、定例会を閉会いたします。

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和８年９月３０日

四條畷市教育委員会教育長　　木村　実

四條畷市教育委員会委員　　佐々木　弥生